

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけっと 本厚木教室		
公表日	2026年	3月	20日
利用児童数	53	人	回収数 41 件 割合 2173

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	2			明るくバリアフリーで清潔な環境である。 リズムウォークする時に少し狭そうです。 個人と集団の2つのスペースがあって良い	レイアウトを変えたり、使わないものはしまう など、少しでもスペースを確保できるようにする
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1		5		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	5		7	階段、出入口付近が少し危ないと感じる。 入り口前の階段が狭く、急と感じる	下駄箱の位置を変え、少しでもスペースを広げる フィードバックの際は相談室に通すことも考える
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	1			安心感のある雰囲気です。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40			1	子どもの課題に沿ってプログラムを組んで頂いている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38			3		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41				責任者が特に優れているらしい。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40			1	いつも客観的な視点をお持ちで常に子どもたちのことを思ってくださっているのを感じます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40				相談したことなども支援してくれています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1		4	課題に応じてプログラムが組まれており、段階的で良い	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	3	4	11	忙しそうにしているのではなかなか声かけづらいです。 基本的に同じ事業所内での交流	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	1		1	面談時に説明して頂いている	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	8	6	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	40	1			困った事も解決されていていっていると思います。 幼稚園での様子や家での様子を共有出来ている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	2	1	2	半年に1回面談の機会があるので良い	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	1		1	保護者のケアがとても良いです。 家での様子も踏まえてプログラムに取り入れて頂いている	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	10	10	13	保護者同士の交流は参加したことが無い。	保護者の情報交換会ができるような企画を立てるか職員で検討していく
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	1		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	2				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	1	7		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	1		2			
非常 時 等 の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知、説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	5	2	8	訓練を実施しているかはわかりません。緊急時等の説明は受けています。	もう少しSNSや掲示板などを使って発信していく
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	2	20		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	3		8		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32			9	今のところ発生していないため	

満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	39	1		1	楽しみにしています。	
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	1	2	長年いるので、飽きてきたと言っていました。よく見て頂いています。行くまでは嫌がるが、始まると楽しんでいるようにも楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	41				アドバイスがとてもあり、助かります。丁寧にやって頂いています。	

## 事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名	てらびあぼけつと本厚木教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	整理整頓を心掛けている	部屋によって大きさが異なる体格の良いお子様に対して机とイスが小さいことがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	年齢によって利用時間帯を分けている	急な職員の休みにより個別療育を行えないときがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	階段が心配なご家庭は手伝いをしている	毎年急な階段との意見をいただくが、設備を変えることが難しく、困っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	空いた時間に清掃を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	基本は個別の部屋にて行っている 聴覚障害のお子様には周りの音が入りにくいよう配慮している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	記録を取ると同時に自分でも振り返りをするようにしている 忘れないようにメモをとることで振り返るようにしている	業務時間内に行うことが難しいこともある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	必ず結果をみんなで周知している	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日行う終礼にて意見交換をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		なかなか第三者に入ってもらえることが機会としてない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的に案内があり、それを受けるようにしている オンデマンド配信などを用いて参加するようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	お迎え時にもその都度意見を聞くようにしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	データや終礼にて共通理解が持てる用話す場がある	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	いつでも確認できるように管理されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	観察する視点を持てるように日々関わっている	アセスメントがあっているの自信がなくなるときがある
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	担当者同士で話し合う機会を設けられている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		知的にゆっくりなお子様は決まった活動になってしまっている 定期的にデータをチェックし、固定化されていないか確認している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別療育だけでなく、小集団療育も始めている 所属園訪問の様子も踏まえてプログラムを組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼を全員で行い、共通理解を持てるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終礼で報告することに加え、療育終了後の記録の時間にも話すことがある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	データを見ながらプログラムを考えている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3	今年度は1回のみであったため、今後は積極的に参加していきたい	責任者のみが参加しているため、自分は参加できていない 人員不足により、出席できる人数が限られている	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		決まった分野との連携ができていない	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	希望があれば、カンファレンスする機会を設けている 連絡帳など見せても良いことを保護者にも伝えて いる	所属園によって移行支援ができない等差がある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	資料として渡すよう保護者に依頼をしている	直接話をする機会を設けられていない
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けの機会を設けているか。	2	2	聴覚障害福祉センターとの連携を予定している	研修などは受けているが、実際に助言をもらうことは ない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		直接保育園や幼稚園とのかかわりを設けていない そこに必要性を感じていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	お迎え時に話をするので、お子様の状況を共有 できていると思う	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	ペアトレといったことはしていないが、お迎え時に そういった助言はしている		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		面談を希望しないご家庭もあるため、こちらからも アナウンスしていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	小集団のフィードバックの際にみんなで集まるよう にしている	なかなかそういった企画をあげられない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	その日のうちに会議にあげ、みんなで案を出し 合っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	ブログやインスタグラムなどを使って発信している	利用者家族が定期的に見ているのかは把握でき ていない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	必ず鍵のかかるところにて保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	外国籍の保護者には英語や平仮名を使ったり等 伝え方に工夫をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		事業所にてイベントを企画していない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約後に全員で周知している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	現時点で医師の指示が必要なほどのアレルギー を持つお子様が在籍していない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		

## 事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけつと本厚木教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画等を通して、保護者との共通理解ができている	毎回丁寧なフィードバックをするよう心掛けている フィードバックではできたことだけでなく、もう少ししたらできそうな課題も伝えており、ご家庭でも協力してもらえようをお願いしている。 所属園や他事業所などの様子を踏まえてセラピー内容を考えている。	所属園での訪問希望も増えていること、訪問したことで、より保護者にも子どもへの理解が深まるため、今後はどの家庭にも進めていきたい。
2	利用児が通所を楽しみにしている もしくは安心して通えている また、保護者からも満足いただけている	セラピー内ではたくさん褒めていき、できたことの喜びを共有している できた際の行動の強化をするためにご褒美(遊び)を楽しめるように新しい玩具や絵本などを随時取り入れている。	その中でも来所時は緊張している様子がうかがえたり、泣きながら来所する児もいるため、それぞれの好きなものをセラピーに取り入れるように工夫していく。 最近好きなものを保護者から聞き取り、セラピーにも取り入れていく。 引き続き満足いただけている支援内容を継続する
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ない	交流会等の催しをしていないため、交流する機会がないと考えている 小集団セラピーに参加しているご家庭はフィードバックで顔を合わせることはあるが、限られた時間のため、話しをすることが難しい	小集団セラピーにおいては、セラピーを最初から最後まで参加可能にし、保護者交流の時間も設けることも検討する 空いているコマを使って交流会の催しを検討する
2	幼稚園や保育園等、他の子どもとの交流がない	個別セラピーを軸としているため、交流する機会がない	そういった交流が必要かどうか、利用者家族に聞いていき、必要があれば検討していく
3			